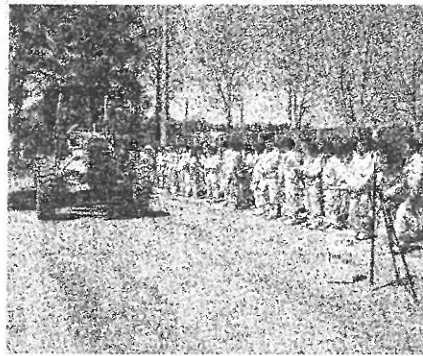


地崎道路(北海道支店
(千葉立美取締役常務執行
役員支店長)は九日、札幌
工業高校のグラウンドを3
D-MCによる情報化施工
で整備するポランテアを
実施。同校土木科の生徒が
授業として情報化施工を見
学し、最新の土木施工を目
を輝かせていた(写真)。

同社では近年、札幌工業
高の卒業生を多数採用して
おり、同校出身の高橋勝之
千歳営業所長は野球部OB
会副会長としても親交が深
く、学校からの「グラウン
ドの整備をお願いできない
か」との依頼を快諾。昨年
からポランテアでグラウン
ド整備を行っている。

昨年は野球場のみだった
が、こしはサッカー場や
陸上トラックも含めた約一
万三千平方メートルのグラ
ウンドを水はけや走りやす



生徒に情報化施工を！ 野球場等1万3千平方メートル整備

ロールを使った情報化施工
で、学校側から「授業とし
て生徒に見せてあげたい」
との希望があり、土木科の
二年生八十人が整備の様子
を見学。
作業に訪れていた同校O
B八人が自己紹介したあ
と、代表し中村竜兵氏が情
報化施工について説明。
と、就職に関する質問も。
同校野球部監督の大西俊
則教諭は「人力で広大なク
ラウンドを整備するのは難
しい、本当に有難い。最新
の情報化施工も生徒に見せ
てあげることができ感謝し
ている」と話していた。

地崎道路が札幌工業高でポランテア

早朝から高橋所長
はじめ約二十人が同校を訪
れ、モーターグレーダー、
ブルドーザー、タイヤロー
ザー、タイヤローザー一台
がマシンコン

北海道通信

平成27年5月12日 掲載